

NO.	頁	10-2	筆 者	摘 要	No.
65	3/1	106	1 主張(T)	ナショナリズムの正体 ナショナリズム その台頭に挑戦せよ 大島啓司 黒田ナツム 永久革命と自由 (4ページにもある) (マレカ) ごきぶりがた評	
			2 山 鹿 藤 本	新版の国際時代がくる 戦争戦後責任を問ひ セ"ネスト体制をつくれ (読者から) 神戸H・T	
			3 横 倉 向 井	バクーニンとマルクス 架空会見記 (8) オ3面を論争に開放 山鹿泰治さんへのソリダ"リテを 秋山三雄氏のユートピア主義論に対して 平和運動の視点を改めよ (海外情報) フランス、スペイン (CNTF 村岡紙より) 無政府共産党からの簡単なコメント (投稿)	
			4 大沢 M・O 加 藤	戦後日本のアナキズム運動 (6) 朝鮮の運動との連帯 死後100年のフーリートン 野原君にこたえる (下) アナキズム研究会ノート (消息) ヴィクトル・グラシア 甘露書房 通信販売 「アナーキー」 45号	✓

NO.	号	ページ	筆 者	摘 要	No.
65	3/1	107	1 主張(孝)	選挙に集団棄権を 北ヴェトナムへの侵略を止める 北米に立ち上ったアナキスト 本末てん倒りのセキ批判 革共同全口委の呼びかけ イオム通信第1号 セレッタイ君来日 時 長 (バトナム問題)	
			2 榎本 高 島	論争をむしろ返そう [大沢論文] 低迷脱しきぬ労働戦線	
			3 秋山三雄 秋 山	横倉氏の反論に対して 中野重治、勝本清一郎の発言を駁す 大逆事件再審請求状況 アナキズム研究会ノート バクーニンとマルクス架空会見記(ワ) 戦后日本のアナキズム運動(ワ) 孤立化をふかめたアナ連 → 前号のナンバー とくいちがい あり	
			4 大 沢 栗 原 高 山 坂 本 秋 山	(詩) シー・ドラゴン号 赤羽巖穴の思想と行動 (書評) 孫性祖「七命記」 「家庭雑誌」と大杉 栄 (読者から) 秋田〜草階俊雄	
備 考					

NO	号	ページ	筆 者	摘 要	No
65	91	108	1 山 鹿 高 島 金田太郎 黒田オサム た告	(主張) 東土バトナしを取もせ 政治変革と自己変革 自由連合制と参議院選挙 (マンガ) 現代思潮社「大杉栄全集」全14巻完結	
			2 山下 稔 青 ワグネル た告	青年アナキスト連盟が結成された 七命キューバ自由派運動 (MLCE) バクーニンとマルクス 架空会見記 (8) 「黒色戦線」5月号刊	
			3 大 沢 横 倉 サンフランシスコ G.C 三 浦	アナキズム革命論の難点とめぐって 今日只今の運動を 一歩山ニ志す雄に— スペインの巨星 ホセ・A・ロイラの 新著「スペイン政治危機におけるアナキスト」 (アメリカ通信) バトナム戦争反対 アナキズム研究会 第14回 2月2日 (報告) 山鹿さんへのリリタリテ (1/2x27 118.600円)	
			4 大 沢 金 田 高橋光吉 S.O 読者から た告	戦前日本のアナキズム運動 (8) 第2回大会と新内閣伝活動 (書評) トロツキー選集 11の2 「文学と革命」 (詩) 恋人 阿部秀雄死去 (3/8) 教員異動の問題 (横浜 K.A) (東京 萩原祥子) (八幡浜 矢・Y・H) 甘露書房 通信販売 「暦」第5号	

NO	号	123	筆 者	摘 要	No
65	5/1	109	1 S 三 浦	(主張) バトナムを支援せよ バトナム問題をこう考える バトナム解放戦線支援の呼びかけ (山口健二, 松田政男ほか) (マンガ) ごきぶりに戦評 (バトナム) 「黒色戦線」かち号	
			黒田村山 田 泉 た 告		
		2	三浦 誠	山陽銅倒産 四つの立場 アナキズムと非暴力 (ルネ・ナゾン, ルネ・ビアン) バリーニンとマルクス架空会見記 (11) ~ ナンバーが面白い	
		3	藤 本 江面-三 大 沢	秋山三良雄, 横倉の所論について 同志 阿部さん 「大杉全集」の完結 どう役立てるか (海外情報) 伊リス, スエーデン, スペイン	
		4	大 沢	戦後日本アナキズム運動史 (9) 日労会誌と自由クラブ 伊藤知死去 (4/4) 前進する青年アナ連 短詩運動 「諷詩・カ1集」出る (詩) 無名信仰 水沼辰夫君をほげます会からの訴え	
			草借俊雄 た 告		

NO.	号	10-ジ	筆 者	摘 要	No.
65	61	110	1	(主張) 選挙の正体を見る 民族解放戦争と現代アナキズム ベトナムに平和をデモと集会 黒田才也 (マレガ) ごきぶり時評 時良 (中国核実験)	
		2	山下博康	春斗 資本側ペースに終る メーデーをこのようにやった 自衛隊について その利用 (投稿)	
			栄健	(海外事情) フランス, アメリカ, 韓国, ベトナム情勢について (投稿)	
		3	向井 M生	バクニンとマルクス架空会見記 (12) 解放戦争と平和運動 イスラエルとわれら ほくらアメリカ人民と連帯する	✓ ✓
		4	グレイ 大沢 金田 市川白絃 高山慶太	ラテンアメリカにおけるサンジカリズムの起原 (1) 戦后日本アナキズム運動史 (10) 理論活動 (書評) 山田宗睦 「危険な思想家」 「アナキズム革命論の難題」に共唱 (詩) もうーぱい (書評) 吉田欣一 詩集 アナキズム研究会報 3/23, 4/19, 5/17, 水沼辰夫君を偲びます会 チャールズ・マーティン 「科学から自由へ」	
			広吉		

NO.	号	10-ジ	筆 者	摘 要	No.
65	8/1	111	1	(主張) 選挙から政治を見る 反選挙大集会開かる 山下博康 アナキズム運動の基礎拡充 大逆事件ニュース アメリカ大使館爆破計画というデマ 選挙～日共 2 赤井輝夫 工業化とアナキズム 1965年の時臭に立つ 戦後20年の変革 カンフランド G・C トモニタカウソ!! 3 玉川信明 M・O バクニンとマルクス架空会見記(13) 甘露書房 通信販売 モ沢東とアナキズム (書評) 近藤憲二「一無政府主義者の回想」 (読者通信) 札幌 G, 東京 U・H, アナキズム研究会 6/16, 7/21 4 グラシア 大沢 森川昭子 M・O L・Aにおけるサレジカリスムの起源(=) 戦后日本アナキズム運動史(11) 連盟の分裂と解散 (詩) 砂粒 (書評) G・ア・ティル「科学から自由へ」 (紹介) 高群逸枝自伝「火の国の女の日記」 真田新内の甘ったれ批評家(辻潤評価のモンダイ) 玉川信明 た吉 高群「火の国の女の日記」理論社	

NO.	号	10-2	筆者	橋	要	No.
65	91	112	1	Y	(主張) 今日、たゞ「また」 1965年夏、広島…… 準備はすすむわが「労働新隊」 戦後20年 黒田村4 森長三郎 2 久保武志 3 グレンツ 三浦 4 大沢 M.O 高山 タカマ	
					(マンガ) ごきぶり戯評 大杉栄と坂本清馬 獄中往復書簡と接見記 アナキの20年～得たもの失ったもの 戦後は終っていない 沖繩で「モ」られた佐藤 タヨリなく見える (投稿) 水沼辰夫死去 (8/25) (掌説) おかしくす 工業化とアナキズムについて 赤羽君に 平和と戦争を考える集会 (海外情報) アメリカ、フランス L.A.におけるサンジカリズムの起源(3) 戦後日本アナキズム運動(12) 連盟とクラブ ブーバーのランダウアー論 (書評) 「定本平出修集」 (レ) 中村遷-「俳句と人生」 (消息) 向井, 高見順華儀, 句集「美しき銭」 アナキズム研究会報 8/18, 9/15	